

履修コード/科目名称	213401 / 教育制度・環境論		
開講年度・期	2019年 後期	開講曜日・時限	木曜日 1時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	萩原 建次郎 (ハギワラ ケンジロウ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	現代の教育と社会との関係にかかわる基本的な知識を学ぶ。また、近年の社会変化および子ども・若者の変化を検討し、それらが教育に及ぼす影響を考える。さらに、諸外国の教育事情・教育改革・教育政策の動向を踏まえつつ、日本の教育改革・教育政策の動向を学び、学校と地域との連携や学校安全への対応を含む今日の学校教育の諸課題を把握する。あわせて、そうした課題への取り組みに必要な基礎的知識を学ぶ。講義だけでなく、受講者に資料等に関する感想や意見を求めたい。		
到達目標(ねらい)	現代の教育と社会との関係にかんする基本的な知識を得る。また、現代の社会状況に関心を持ち、その変化が人間のあり方や教育に及ぼす影響を考察することを通して、現代の教育諸課題、とりわけ生徒の指導上の課題を把握できる。さらに諸外国の教育事情を知り、その教育改革・教育政策の動向を把握するとともに、日本の教育改革・教育政策の動向を理解する。加えて、学校と地域との連携と学校安全への対応という課題への取り組みのための基礎的知識を得る。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーションー授業概要、テキスト、評価など	
	第2回	「教育」「学校」とはなにか	
	第3回	近代教育制度の成立	
	第4回	現代社会と教育(1) 学校という組織をどのようにとらえるか	
	第5回	現代社会と教育(2) 学校の社会的機能をめぐって	
	第6回	現代社会と教育(3) 「学力」「能力」の社会的意味	
	第7回	現代社会と教育(4) 教員の仕事をめぐって	
	第8回	現代社会と教育(5) 子ども(生徒)集団の変容	
	第9回	世界の教育事情・教育改革・教育政策	
	第10回	現代日本の教育改革・教育政策と教育課題(1) 動向	
	第11回	現代日本の教育改革・教育政策と教育課題(2) 子ども・若者の人間形成	
	第12回	現代日本の教育改革・教育政策と教育課題(3) 教育方法の課題	
	第13回	現代日本の教育改革・教育政策と教育課題(4) 学校と地域の連携	
	第14回	現代日本の教育改革・教育政策と教育課題(5) 学校安全への対応	
	第15回	まとめ	
準備学習	シラバスに紹介してある参考文献を中心に、教育と社会に関する本を積極的に読んで受講すること。		
履修上の留意点等	講義だけではなく参加型学習も取り入れているため、積極的な参加姿勢が求められる。またリアクションペーパーを通して、受講生と教員との相互コメントをできるかぎり実施したい。		
成績評価の方法		試験	
	40%	レポート	
		小テスト	
	60%	平常点	

教科書/テキスト	萩原建次郎『居場所－生の回復と充溢のトポス－』（春風社）
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	高橋勝『子どもの生きられる空間』『流動する生の自己生成』（東信堂） 高橋勝『文化変容のなかの子ども』（東信堂） 萩原建次郎・田中治彦編著『若者の居場所と参加』（東洋館出版）
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	受講生の知的な興味関心や思考を豊かにしていくために、教材やテーマ設定の工夫を心がけたい。
関連リンク	
実務経験がある教員による授業科目	